地域おこし協力隊通信　Ｎｏ.68

マオイ活動だより

観光振興担当
古川　喬士さん

表現、あるいは「いかに生くべきかの実験」

協力隊の任期が少しずつ終わりに近づき、この先どのような仕事をして生活をしていこうかと思案中です。

長く暮らした中南米の食べ物を製造する案、ツリーハウスと秘密基地の大工になる案、庭先でカフェをする案。どれもそれなりに説得力がありながら、決定的な何かがまだ欠けている気もしています。

先日、風呂で本を読んでいて、こんな一文に遭遇しました。

「生活しているだけでは足りぬと信ずるところに表現が現れる。表現とは認識なのであり自覚なのである。いかに生きているかを自覚しようとする意志的な意識的な作業なのであり、引いては、いかに生くべきかの実験なのであります。」（小林秀雄「表現について」より）

長沼で行き交う人たちを思い浮かべると、生活の意識化した上に立ち昇る「表現」をして生きている方々がたくさんいることに思い当たります。農家、陶芸家、食べ物屋、花屋、大工、公務員、それら「職業」に当てはまらない人たち。いかに生きるべきかを真剣に実験している人たちに、この町では毎日出会います。

同じ文章の中に詩人の仕事について、このような洞察もありました。

「詩作とは日常言語のうちに、詩的言語を定立し、組織するという極めて精緻（せいち）な知的技術であり、霊感と計量とを一致させようとするおそらく完了することのない知的努力である」

詩人に限らず、「表現」＝「いかに生くべきかの実験」をしながら生活する人達は、日常の世界から自分の専門分野における結晶を掬（すく）い出して仕事をされています。

土壌や生態系との共生を実験しながら栽培する農家の方、担当事項の最善と全国の事例を研究し、新しい提案をする町職員の方、建築分野を飛び出して、自分のセンスをぶつけ続ける大工さんなど、次々にその顔が頭に浮かびます。

そんな人たちのことを思いながら、自分も何か「表現としての仕事」と言えるものにたどり着けたらと今、試行錯誤の日々を過ごしています。

本格イタリアン！

シティプロモーション担当
佐野　亜沙美さん

5月1日、12区にイタリア郷土料理・おやつ・珈琲『カレイドスコーピオ』がオープンしました。

シェフの安部さんは、2度にわたりイタリアで修業し、一つ星レストランでも腕を磨きました。

北海道産小麦の「はるゆたか」や「ゆめちから」を使用した手づくりパンや、普段なかなか味わえない、餃子みたいなラビオリ、耳たぶみたいなオレキエッテなどの色んな生パスタに、こだわり食材を合わせたメイン料理は特別なひとときを味わえます。

ドルチェも作るのが好きなシェフ。町内の養鶏農家「モチツモタレツ」さんの平飼い有精卵を使用したプリンや、道内の厳選した牛乳を使ったパンナコッタなど、デザートにもこだわりがキラリ。

珈琲は石狩市の珈琲屋「みちみち種や」さんが豆本来の独特の香りとコクを出す炭火直火焙煎した、カレイドスコーピオオリジナルの豆を使用しています。

料理だけではなく、イタリア産の食器や小樽ガラスで作った手づくり照明など、店内のインテリアのひとつひとつが、安部さんご夫婦のお気に入りで満たされています。

奥さま晴菜さんは、初トライの飲食業でワインのスマートなあけ方とか、難しい事が多々あると思いますが、晴菜さんのたっぷりの笑顔、チャキチャキした話し方、可愛く無邪気な人柄を、伸び伸びと生かしてほしいと、仕事も伸び伸び派の私は願います。

札幌にいたご夫婦は、自宅兼店舗となる場所を道内各地で探していました。

その中で今の場所と出会い、マチの雰囲気や環境、人の温かさを大切にしたいと思い、長沼町に決めました。

私が伺ったときに、お庭の真ん中に佇んでいたスモークツリー、モコモコになるのはもう少しかな。

『カレイドスコーピオ』はイタリア語で万華鏡・色とりどりという意味。

本格イタリアンをいただきに、リフレッシュにお庭の景色を眺めに、店内のアンティークや食器たちと出会いに、特別な日に特別な人との時間を過ごしに、ひとりひとり思い思いの時間を過ごしてほしいという想いを込めて…。

長沼町の自然や歴史・文化を伝える「長沼タンチョウ・ガイド講座」開催!

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会地域づくり専門部会では、今年度、自然保護と観光振興を両立する地域づくりを行うことを目的として、長沼町の自然や歴史・文化を伝えるガイド育成講座を開催します。

タンチョウも住めるまちづくり、長沼町の自然・歴史に関心のある方ならどなたでも（ガイドとしての活動を現時点で考えていない方も）ご参加いただけます。

参加を希望する方は、7月26日(月)までに申込事項を添えて役場企画政策係にお申込みください。

【申込事項】
①件名「タンチョウガイド講座申込」
②氏名（ふりがな）
③年齢
④住所
⑤電話番号・メールアドレス
【受講料】無料
【申込・問合先】役場企画政策係
（☎76-8015　FAX：88-0888
E-mail:seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp）

ガイド育成講座　開催スケジュール（予定）

日時・場所	内容
第１回室内講義 7月31日(土)　13:00～17:00 (ながぬまホワイトベース)	講義①　ガイドの方法と技術（エコ・ネットワーク代表 小川巌氏） 講義②　タンチョウの生態（専修大学北海道短期大学名誉教授 正富宏之氏） 講義③　タンチョウの歴史・文化（北海道大学准教授 久井貴世氏）
第２回室内講義 8月29日(日)　13:00～16:40 (ながぬまホワイトベース)	講義④　長沼町の歴史・文化（長沼歴史探求編集者 山下光雄氏） 講義⑤　タンチョウを呼び戻す地元の取組 （舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会会長 加藤幸一氏） 講義⑥　ガイドのための救命救急（南空知消防組合長沼支署）
第３回模擬ツアー 9月4日(土)　10:00～15:00 (舞鶴遊水地)	講義⑦　観光ツアーへのガイドの仕方（北海道中央バス㈱ 嶋田浩彦氏） ＜模擬ツアーの組み立て、模擬ツアーの実践、モニターツアーの組み立て＞
モニターツアー１（9月）	実際のガイドを体験します。
モニターツアー２（10月）	実際のガイドを体験します。

人も、会社も、もっと元気に！
中小企業退職金共済制度
◆掛金の一部を国が助成
◆掛金は全額非課税。手数料も不要
◆外部積立型なので管理が簡単
◆パートさんの加入もOK
詳しくはホームページへ
中退共　検索
(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234　FAX.03-5955-8211

こころの健康相談のお知らせ

りふれでは、月に一度、精神科医師による「こころの健康相談」を行っています。ご家族の方からの相談も受け付けていますので、お悩みの方はぜひご相談ください。

【日　時】
7月20日(火)、8月17日(火)
9：30～11：30　※事前に予約が必要です
【場　所】りふれ
【問合先】りふれ　保健係（☎82-5555）